

図書報だより

第 58 号

平成11年9月30日
愛媛大学附属図書館

目 次

「鯨」といっしょに……………1	お知らせ……………11
電子図書館とメタデータ……………3	平成11年度愛媛地区大学図書館協議会総会……………12
—平成11年度大学図書館職員長期研修報告—	
学生に読ませたい図書……………4	平成11年度愛媛大学体験入学……………12
学生希望図書……………6	附属図書館委員会……………12
CD-ROM「雑誌記事索引」の使い方…7	図書館日誌(会議, 研修)……………12
図書館を利用するためのQ&Aコーナー (その2)……………10	

「鯨」といっしょに

天 野 要

附属図書館と総合情報処理センターとの関係について、という制約条件付きで原稿の依頼を頂戴しました。しかし、この4月にセンター長に就任したばかりで、図書館とセンターとの関係についても職員の方々にあれこれ教えていただいているのが実情です。そこで、経験を交えながら、個人的な所見を述べさせていただきますことにします。

図書館と情報処理センター(計算センター)との関係で、20年近く前のことを思い出します。当時、私は北海道大学大型計算機センターに勤務して、学術データベースとコンピュータネットワークに関する開発・運用を担当していました。前者に関しては、まず、外国で作成された大規模文献データベースを日本の大学の研究者にいかにかサービスするかが、北は北海道大学から南は九州大学に至る、全国7大学の大型計算機センターに共通の課題

でした。また、このような文献データベースのサービスに留まらず、日本の大学における独自の学術データベースの作成をいかに支援するかもそれ以上に重要な課題でした。後者に関しては、大型計算機センター間コンピュータネットワーク(N1ネットワーク)の運用がようやく開始されたばかりでした。N1ネットワークには、仮想端末サービス(N1NVT)と遠隔ジョブ投入サービス(N1RJE)の機能だけで、FTPやメールの機能もありませんでした。それでも、日本で最初の全国規模の学術ネットワークとして、その運用の実現には様々な困難がありました。ある大学で作成・公開されたデータベースをこのネットワークを介して別の大学でサービスすることも重要な課題でした。

このような時代背景の中で、図書館と大型計算機センターとの関係も時々話題になりま

した。しかし、当時、センター関係者は直接的な協力関係の実現には必ずしも積極的ではありませんでした。その理由は「鯨を引いて泳ぐ」ことにならないかという不安でした。図書館がセンターにとって巨大な存在であることは建物の規模を比較しただけでご理解いただけたと思います。しかも、中には膨大な学術情報が蓄積されていて、それらに関する書誌的な2次情報を機械可読な形式に変換することだけでも気の遠くなるような話でした。鯨を引いて…という表現も、コンピュータと情報処理が今日ほどには一般的でなく、センターは大学の情報処理を一手に担っていて、余裕もなかった、ということでお許しただきたいと思います。

さて、現在の状況は大きく変わっています。愛媛大学でも、学内LAN(EUNET)を経由して目録検索サービス(OPAC)を利用すれば、研究室にいながらにして附属図書館の図書・雑誌の所蔵の有無や所在情報を検索することができます。また、学術ネットワーク(SINET)を介して、学術情報センター等の学外の情報にアクセスすることもできます。このような情報サービスの主体が図書館であるかセンターであるかは利用者にとっては無意味な問題でしょう。教育・研究に必要な情報を提供するという視点からは、両者の果たすべき役割に明確な境界はないように思えます。

一方、図書館とセンターでは扱うモノの性質が異なることも事実です。図書館は膨大な図書・雑誌等を蓄積・管理しています。これらの中には、古くなっても価値の失われることのないものが少なからず存在します。書き込みやしみまでが貴重な文化的財産であり得ます。センターは多数のコンピュータからなるシステムを管理しています。このシステムは概ね4～5年で陳腐化します。10年を経過したコンピュータは、骨董品としての価値が出ることはあっても、情報処理の道具としてはほとんど役に立ちません。このようなモノの性質の違いはおのずと利用のされ方にも反映

します。望ましい協力関係の実現には両者の独自性と共通性を十分に認識することが必要です。

さて、社会の情報化のうねりはさらに大きく、コンピュータは小型化・大容量化の一途をたどり、教育・研究に必要な情報の種類と媒体も画像や音声、ビデオテープやCD等と多様化しています。印刷物として出版されていた情報が電子的な形で出版される機会も増えてきました。また、情報の収集と利用だけでなく、独自の情報の発信も強く大学に求められるようになってきました。

附属図書館と総合情報処理センターにとっても、従来の枠組みを超えた協力関係が必要な時代に来ていることは明らかです。既に、幾つかの大学では、学術情報基盤の整備という高次の視点から、このような機能を担う組織の再編が始まっています。愛媛大学でも、情報化推進委員会を中心にこの問題が検討されています。附属図書館と総合情報処理センターが愛媛大学の学術情報基盤を担う重要な組織であることは指摘するまでもありません。両者の間でも、愛媛大学の教育・研究環境の整備にとって重要な課題であるという認識の下で、望ましい協力関係について継続的な検討が行われています。その基本的な構想はここ数年の間に定まることになると思います。

最後になりましたが、「鯨を引いて泳ぐ」という表現はやはり不適切で、鯨は千キロメートルの単位で相互にコミュニケーションをとりながら、地球規模で移動・生活している動物だそうです。また、センター長の立場で関係者と接するようになって、大量の図書・雑誌等を常に利用可能な状態で蓄積・管理することだけでも大変な仕事であることをあらためて認識しました。実際、自分では研究室の書籍の管理にも手を焼いています。今後、学内情報基盤を共に担う施設として、情報化社会という海の中を附属図書館という「鯨」といっしょに泳ぎたいと考えています。

(あまの かなめ 総合情報処理センター長)

電子図書館とメタデータ

—平成11年度大学図書館職員長期研修報告—

仙波行茂

7月12日から30日までの3週間に渡り、平成11年度大学図書館職員長期研修に参加させていただく機会を得ました。http://www.ulis.ac.jp/library/Choken/choken_home.html に講義要項、研修の記録等がありますので、興味のある方は一度ご覧になってください。

ここでは、その研修での見聞をもとに最近の電子図書館の分野でトピックとも言えるメタデータについてお話してみたいと思います。

さて、皆さんは電子図書館という言葉からどのような内容を想像されますか。

一般的には、貴重書などの資料を電子的な画像、テキスト等に変換し、インターネット上で提供することが電子図書館サービスの中心的なものであると思われることが多いと思います。事実、国内の大学図書館等では電子図書館の先行的試みとして、このような形態の情報提供サービスがここ数年に渡って行われてきました。

一方、近年のインターネットの発展によって、「メタデータ」が注目を浴びています。メタデータは一般的には「データに関する(構造化された)データ」と定義されています。要するに、メタデータとはどんな情報資源がインターネット上のどこにあるかを示すためのデータであると言えます。

既にインターネット上にはAltavistaやgooといったサーチエンジンがあり、自分が欲する情報資源を自ら探すことが出来ますが、こうしたサーチエンジンは、大抵の場合、全文検索を行っていますので、検索の結果、得られた集合には自分の意図とは全く違うページへのリンクが数多く含まれていて、それらをかき分けながら自分が目的とするページへのリンクを探す、という経験を多くの方がされていることと思います。実際、ウェブ上のホームページはほとんど構造化されておらず、インターネット上に無秩序にばらまかれてい

ますから、それも無理もないことです。

そうした大量の情報資源の中から必要なものを効率的に見つけだすために考え出されたのがメタデータというわけです。

図書資料に目録規則があるように、メタデータにも記述のための規則が存在します。その標準的なもののひとつとなっているのが、Dublin Core Metadata Element Set(以下、DC)で、いわばインターネット上の情報資源の目録規則です。

DCは、①タイトル、②著者あるいは作者、③主題及びキーワード、④内容記述、⑤公開者(出版者)、⑥寄与者(他の関与者)、⑦日付、⑧資源タイプ、⑨形式、⑩資源識別子、⑪情報源(出処)、⑫言語、⑬関係、⑭対象範囲(空間的・時間的)、⑮権利関係、の合計15のエレメントからなっています。

試みに、わが附属図書館のホームページについてのメタデータを記述してみると、

①Ehime University Library Home Page

②愛媛大学附属図書館

③愛媛大学附属図書館、大学図書館

④愛媛大学附属図書館のトップページ。蔵書検索(OPAC)Web版などのリンクがある。

⑤愛媛大学附属図書館

⑦1999-07-01

⑧text

⑨text/html

⑩http://www.lib.ehime-u.ac.jp

⑫ja

⑮Copyright(C)1998, 愛媛大学附属図書館
(記述する内容が無い項目については省略)

というような感じになります。

このようなメタデータの記述作業をインターネット上のそれぞれのページについて、ひとつひとつ行い、集積されたメタデータのデータベースをもとに、目的とするページへのゲートウェイ的機能を提供することで新しい

形の電子図書館を構築しようとする試みが国内の大学図書館等でも既に始まっています。

さらに、世界中には各種の資料についての電子的な図書館目録データベースが多数存在しますが、それらの目録とDCに基づいて作成されたメタデータデータベースとの間で、各項目の意味内容を比較してデータの交換を行おうとする試みも諸外国で既に進められているようです。

そういった対応テーブルが整備されれば、従来、違った形式でそれぞれ別個に記述されてきた図書館目録について、記述形式の統一化が計られ、情報資源としての利用価値がより一層広がると思われまますので、今後、わが国の各種の電子的な図書館目録についても、DCに基づくメタデータとのデータ交換の方策を確立していくことが望まれるところで

す。

以上、電子図書館とメタデータについて簡単に述べさせていただきました。

末筆になりましたが、今回の研修にあたりまして、学内外の図書館関係者の方々に大変お世話になりました。ここに厚くお礼申し上げます。

参考URL

- ・DCホームページ
(http://purl.org/metadata/dublin_core)
- ・図書館情報大学・DCのページ
(http://www.DL.ulis.ac.jp/DC/index_J.html)

参考文献

- ・メタデータ特集「情報の科学と技術」49(1), (1999)
(せんば ゆきしげ 資料サービス係)

学 生 に 読 ま せ た い 図 書

医学部と農学部の教官から図書を紹介していただきました。

図書の*マークは、(平成11年9月30日現在)図書館の開架図書等を示し、配置場所と請求記号を明記してあります。また、所蔵していない図書は、可能なかぎり購入・整理して、開架室に備え付ける予定です。(ホームページ <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/SHOKAI/index.html>)

医学部

加納 誠 教官(細菌学)

- * 1) 細菌の逆襲:ヒトと細菌の生存競争
(中公新書)

吉川昌之介著 中央公論社 1995

請求記号 491.7/YO 医・開架図書

本書は、ヒトと細菌の長い生存競争の中で編み出された相互の巧妙な攻防の体制を紹介しながら多くの疫病の発生を考察している。抗生物質の使用によって細菌による感染症は消滅の道をたどっていると思われてきたが、現実には人喰いバクテリアが出現したり結核の集団感染などがさかんに報道されています。本書のあとがきには、“医学が細菌感染症に勝利したと思ったのは幻想であった”と書いてあります。医師が細菌感染症などに学

問的情熱を示さない、このような傾向が医師にも患者にも細菌感染症の恐ろしさを忘れさせてしまった。その結果、細菌に逆襲されてしまったということになるわけで、著者はそのことを数年前に本書で警告をしたのである。むやみに敵(細菌)を恐れず、しかし侮らず、敵を知るために本書を読むことをおすすめしたい。

- * 2) アルジャーノンに花束を

ダニエル・キース著 小尾美佐訳

早川書房 1989

請求記号 A933/KE 本館・開架図書

請求記号 933/KE 医・開架図書

- 3) 錦繡(新潮文庫)

宮本輝著 新潮社 1976

(*宮本輝全集 第2巻に収録)

請求記号 918.68/MI/2 本館・開架図書)

農学部

杉本 秀樹 教官 (作物学)

* 1) 日本の米：環境と文化はかく作られた
(中公新書)

富山和子著 中央公論社 1993

請求記号 616.2/TO 本館・開架図書

かつて、利根川が江戸湾(東京湾)に注いでいたこと、大和川が大阪平野で淀川に注いでいたことを知っていますか？

農業土木の世界から、日本の環境、文化がいかにつくられてきたかを解き明かし、農業の価値を新しい視点からとらえ直す。

* 2) 水田軽視は農業を亡ぼす

吉田武彦著 農山漁村文化協会 1978

請求記号 616.2/Y1 本館・書庫

請求記号 616.2/YO 農・開架図書

日本農業の特徴をヨーロッパ農業と比較することによって明らかにし、水田の生産力の高さを証明するとともに、水田を利用した日本型輪作農業が今後の日本農業の進む道であることを指摘した。

* 3) 食料生産と環境：持続的農業を考える

久馬一剛著 化学同人 1997

請求記号 610/KY 農・開架図書

なぜ持続的農業なのか？持続的農業とは何か？本書は、持続的農業と環境問題を鳥瞰図的に捉えるのに適切な構成と内容である。

森本 哲夫 教官 (環境情報制御学)

POPな進化論：『進化』の謎と不思議を推理する！

中原英臣, 佐川峻監修

同文書院 1996

生物の進化はダーウィンの進化論で十分説明でき、ごく当たり前のように思っていた。しかし、進化をよく考えると、非常に不思議な現象であることに気づく。それは、方向性が無く小規模でランダムな遺伝子の突然変異およびその積み重ねだけで、魚類から両生類、爬虫類から哺乳類、さらに人間といったまったく新しい種(完成された種)が生まれるのだろうか。生物は、失敗無しに新しい種を次々

に誕生させている。

本書は、“進化はウイルスに感染して引き起こされる”と言うまったく新しい進化説「ウイルス進化説」を唱えている。すなわち、“ウイルスが細胞に侵入し、その遺伝子を宿主の遺伝子に組み込ませ、大規模な突然変異を起こさせる”という説である。遺伝情報は、親から子への垂直方向の伝達が一般的であるが、この進化説では、個体から個体への水平方向、同種の間だけでなく種の壁を越えて伝達される。進化のしくみは不可解な点が多いが、本書は会話形式で書かれており非常に興味深く読める。

山下 淳 教官 (生産自動機械学)

* 1) 土と文明

V・G・カーター, T・デール著

山路健訳 家の光協会 1995

請求記号 613.5/59 農・開架図書

本書は、1957年に刊行された「世界文明の盛衰と土壌」にアメリカ文明を加筆した新装復刻版(1975年)の訳書である。

内容は、かつての文明国が農業を疎かにした故に没落の途を辿ったことを述べた上で、己の食料の拠である土壌保全の重要性を説いたものである。世界文明の歴史を今一度学習する意味でも一読することを勧めたい。

* 2) 五体不満足

乙武洋匡著 講談社 1998

請求記号 289.1/OT 本館・開架図書

ベストセラーであるこの本は、おそらく皆さんも読まれたことと思います。

「乙武洋匡」彼は、五体不満足な子供として生まれた。不満足どころか五体のうち四体までがない。先天性肢体切断という障害を単なる「身体的特徴」、自分の個性とし、「自分にしか出来ないこと」=「心のバリアフリー」を目指して活躍している。温かい家族、友達、先生に囲まれ、電動車椅子に乗って飛び回る彼は言う。「障害は不便です。だけど不幸ではない」と。彼の生き方に感動するだけでなく、「生きる」という考え方を参考にして欲しい。そして、「自分らしさ」に誇りを持って、

生きて欲しい。

鶴崎 孝 教官 (生産環境施設学)

近年、各地の大学では開学50周年、開学100周年を記念する式典、事業等が計画、また実施されている。歴史の“点”を探索し、それを学ぶ絶好の機会であると思い2冊の古書を掲げてみた。

* 1) 農学研究・農業と農学

横井時敬著 成美堂書店 1917

請求記号 610.1/50 農・生産環境施設学

「農業は耕種又た之と養蓄とを兼ね用ひて貨殖を圖るの業なり。」で始まり、「即ち是れ實地家と科學家と各々其立場を同ふせず、其研究の分野を殊にする所のもの、両者共によく心得ざるべからざる所なり。」で終わる有名な書物である。農業の定義・範囲・性質・種類および農学の定義・歴史・性質・組織・研究方法、

学理と実地との関係について整然と章を立て、著述してある。ページを捲って章・節の項目を追うだけでも興味を引く。最近、良く使われる「環境」の二字は見当たらない。

* 2) 農業の労働科学序説

暉峻義等著 国土社 1953

請求記号 611.75/15 農・生産環境施設学

本書は「人間を通して、人間を中心として農業をみる」と目的を明確にしており、農業・農学の分野に人間工学的な方法論を取り入れた草分け的な存在で、農業労働についてソフトに著述してある。労働科学的研究は、農業生産過程に対する労働力の動員の統一的な計画を進める上で、極めて重要であると説いている。労働の技術手段のデータ(図・表)が当時の農業事情を反映しており、現在、農業の発展的なすがたは技術の展開と不離の関係にあることがわかる。

学 生 希 望 図 書

平成11年4月～8月に学生から購入希望があった図書のうち、以下の図書を購入整理して、利用に供しています。図書館では、予算の範囲内で学生の希望に応じる予定ですので、購入を希望する図書があれば、「希望図書申込書」に必要事項を記入し、本館は1階カウンター、2階・3階のラウンジに設けているポストに入れてください。医学部分館・農学部分館はカウンターに提出してください。

本館

書 名	編 著 者	出版社	出版年	請求記号
薔薇の名前 上・下	ウンベルト・エーコ著, 河島英昭訳	東京創元社	1990	973/EC/1-2
イングランド宗教改革史研究	八代崇著	聖公会出版	1993	192.33/YA
自然の中の人間シリーズ 昆虫と人間編 全10巻	農林水産省農林水産技術会議事務局監修	農山漁村文化協会	1998	468.08/KO/1-10
本当は恐ろしいグリム童話 1-2	桐生操著	KKベストセラーズ	1998-99	940.28/KI/1-2
速読の英語 改訂新版	松本道弘著	プレジデント社	1997	837.5/MA
高齢者介護サービス利用法	野中淳子著	晶文社出版	1998	369.26/NO
江戸の思想 1-9	江戸の思想編集委員会編	ペリカン社	1995-98	121.5/ED/1-2

農学部分館

書 名	編 著 者	出版社	出版年	請求記号
文明の衝突	サミュエル・ハンチントン著	集英社	1998	319/HU
EM有用微生物群産業革命	比嘉照夫監修	綜合ユニコム	1995	465.04/EM
21世紀の日米関係	小島明ほか著	日本経済新聞社	1998	319.1053/OB
分子生物学の基礎 (第3版)	G.M. Malacinski ほか編	東京化学同人	1999	464.1/FR
ポイントがわかる分子生物学	松橋通生ほか編	丸善	1999	464.1/PO

CD-ROM「雑誌記事索引」の使い方

1. 雑誌記事索引

「NDL CD-ROM Line 雑誌記事索引」では、国立国会図書館が収集した国内刊行雑誌のうち、約5,500誌(1996年5月までは約3,000誌)に掲載された論文の記事データを検索することができます。収録年は1975年以降で、年6回データ更新されます。

2. 検索の前に(初期設定)

城北地区および樽味地区で、Windows(95/98/NT)からネットワークで利用できます。

図書館以外の端末では、初期設定を行ってください。

- ① 図書館ホームページの学内限定サービスをクリックします。
- ② “Ehime University Library Information System”の3. CD-ROMサーバ情報検索■医学中央雑誌・雑誌記事索引をクリックします。
- ③ 「愛媛大学附属図書館CD-ROMサーバシステム」の1. 必須!!の雑誌記事索引利用マニュアルをクリックします。
- ④ 「CD-ROMサーバ利用マニュアル Windows 端末用」によって、設定を行います。

3. 検索の開始

- ① 図書館ホームページの学内限定サービスをクリックします。
- ② “Ehime University Library Information System”の3. CD-ROMサーバ情報検索■医学中央雑誌・雑誌記事索引をクリックします。
- ③ 「愛媛大学附属図書館CD-ROMサーバ

システム」の3. データベースメニューをクリックします。

- ④ 「愛媛大学附属図書館CD-ROMデータベースメニュー」の雑誌記事索引をクリックします。



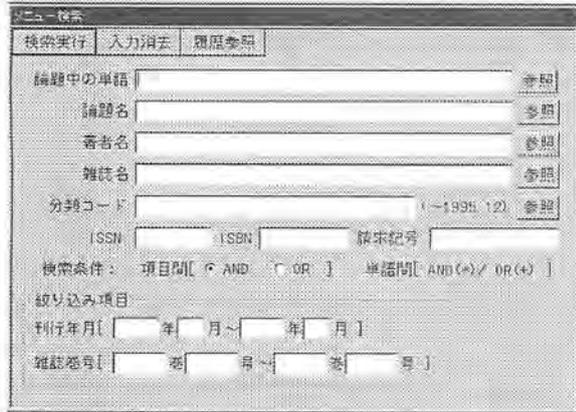
- ⑤ CD-ROMドライブ一覧から、使用するCD-ROMをクリックし、[決定]ボタンをクリックします。



4. 検索の方法

検索にはメニュー検索とコマンド検索がありますが、ここではメニュー検索について説明します。

- ① 検索語の入力



(ア) 論題中の単語、論題名、著者名、雑誌名の入力方法

a. 表記形で検索する場合は、表記のとおりカタカナ、ひらがな、英数字、記号、漢字を入力します。(例) 日本文学
読みで検索する場合は、カタカナ、英数字、記号で入力します。

(例) ニホンブンガク

b. 半角、全角や大文字、小文字の区別は必要ありません。どちらでもかまいません。読みの分かち書きも意識しないで検索できます。

(例) ニホン ブンガク でも

ニホンブンガク でも良い。

c. 通常は検索語の前方一致検索を行います。完全一致検索を行うには、検索語の最後に「/」を付けてください。

(例) 日本文学 → 日本文学, 日本文学史, 日本文学会 などを検索します。
日本文学/ → 日本文学 だけを検索します。

d. 用語一覧を利用する

著者の姓しかわからない場合や、「環境-」についての語にどんなものがあるかという場合に利用します。

(例) 著者名に「松山」と入力し、[参照] ボタンをクリックします。用語一覧の

中から該当する語を選び、「Enter」キーを押します。



e. 同じ項目内の AND 検索、OR 検索の方法

AND 検索(検索語をすべて含む論文を探す)は検索語の間に「*」を入れます。(例) 環境*廃棄物

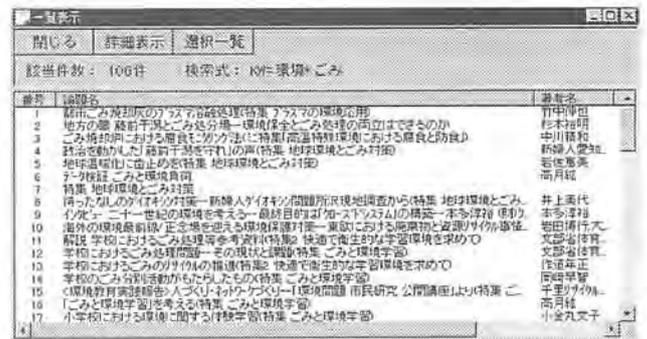
OR 検索(検索語のいずれかを含む論文を探す)は検索語の間に「+」を入れます。(例) 環境+廃棄物

(イ) 絞り込み項目の入力

検索範囲を刊行年(年月)、雑誌巻(巻号)で絞り込みたい場合は、半角数字を入力します。

② 検索結果の表示

[検索実行] ボタンをクリックすると、検索結果が一覧表示されます。



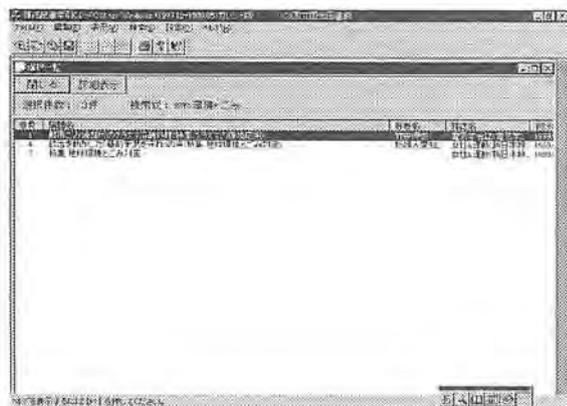
(ア) 複数記事の選択と選択解除

- 複数の記事を選択するには、[CTRL]キーを押しながら、選ぶ記事にカーソルを持っていきクリックします。
- 選択を解除する場合は、再度[CTRL]キーを押しながら、解除する記事をクリックします。

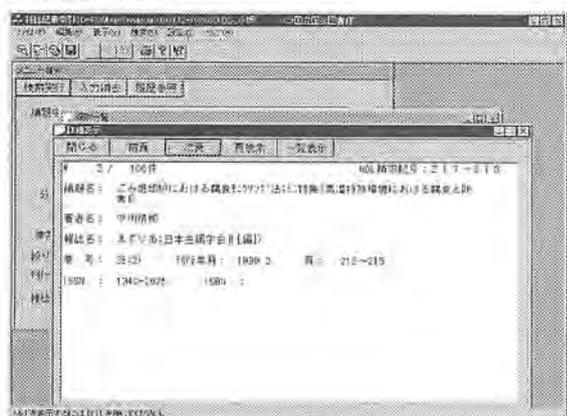
(イ) 詳細表示

- 1件の記事を詳細表示するには、その記事にカーソルを持っていきクリックし、[詳細表示]ボタンをクリックするか、記事をダブルクリックします。
- 複数記事を詳細表示するには、(ア)で記事を選択した後、[選択一覧]ボタンを押して、「選択一覧画面」を表示させ、[詳細表示]ボタンをクリックします。記事の番号順に表示できます。

選択一覧画面



詳細表示画面

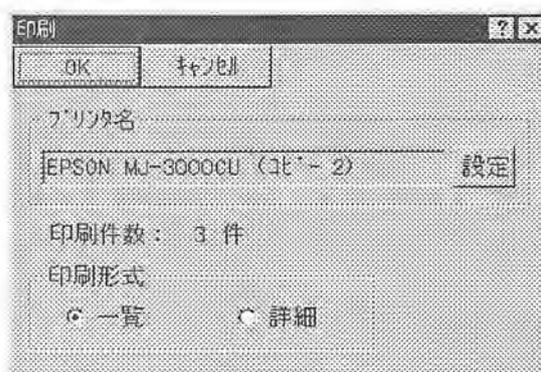


③印刷

ファイル(F)の(P)をクリックします。または、ツールバーの印刷コマンドボタンをクリックします。

「一覧表示画面」と「選択一覧画面」からの印刷は、その全データを印刷します。「印刷画面」で、印刷形式の「一覧」・「詳細」を選び「OK」をクリックします。

「詳細表示画面」からの印刷は、表示されているその1件を印刷します。



④CD-ROM交換

設定(O)のCD選択をクリックします。または、ツールバーのCD選択コマンドボタンをクリックします。「CD-ROMドライブ一覧画面」が表示されます。

⑤履歴参照

起動時からの検索結果を履歴として保存していますので、検索を確認したり、交換したCD-ROMでの検索に再利用できます。



利用する履歴をクリックし、[選択]ボタンをクリックすると選択した内容が「メニュー検索画面」に表示されます。

⑥検索の終了

ファイル(F)のアプリケーションの(X)をクリックします。

図書館を利用するためのQ & Aコーナー (その2)

—OPACでよく質問される事項—

Q：日本語入力ができないのですが？

A：カーソルを入力したい場所に移動させてから、「Alt」キーを押しながら「半角/全角」キーを押して日本語入力のツールバーを表示させ、一番左のコーナーをクリックして「全角ひらがな」の入力モードを選択してください。

Q：検索で探している資料は見つかったのですが、配置場所はどこですか？

A：蔵書検索の「検索結果詳細」の画面で下半分に表示された「所蔵情報」の中の「配置場所」については、次のとおりです。

「図・開架図書」は、本館の開架図書で、図書館の閲覧室に配置してある貸出可能な図書です。請求記号の最初の数字が、
0,1,2,3,6,7及び全洋書は 第1開架室
4,5であれば 第2開架室
8,9であれば 第3開架室
と覚えておくと便利です。

「情報科学」(分類記号：007)関連の図書および「ブルーボックス」は、第2開架室にあります。教科書類は第3開架室にあります。

図書の背の下部に貼付してあるラベルは、この請求記号を記入してあり、館内の図書は、この記号順に配列してあります。

「図・参考図書」は図書館1階の参考図書コーナーに配置してある図書ですが、貸出は出来ません。

「図・地域資料」は、愛媛県および県下市町村が刊行する資料で、1階の参考図書コーナー北側に配置してあります。

「図・書庫」は書庫に配置されています。利用につきましては、資料サービス係まで申し出てください。

他に「図・記念文庫」「図・松高文庫」などが表示されます。

それぞれの場所へ行って利用してください。また、学部教官名が表示されている図書は、教官研究室にあります。

Q：雑誌の場合、論文名から検索はできますか？

A：雑誌の場合、雑誌の論文名では検索できません。雑誌名で検索してください。論文名からの検索については、図書館ホームページから、「雑誌記事索引」、「医学中央雑誌」、「AGRICOLA」、「PubMed」のデータベースが利用できます。使い方については、学術情報係へおたずねください。

なお、OPACの操作方法全般につきましては、メニュー画面の「操作ガイド」に詳しく説明してありますのでご覧ください。

お知らせ

コイン式複写機の設置について

本館は本年8月、農学部分館は9月にコイン式複写機を設置しました。場所は、本館が1階資料サービス係カウンター横、農学部分館が1階カウンター横です。著作権遵守のため、必ず「館内文献複写申込書」に記入の上、ご利用ください。

利用できる時間は、図書館の開館時間内です。

SCSによる大学図書館職員長期研修講義の受講について

文部省と図書館情報大学の共催で開催された平成11年度大学図書館職員長期研修(7月12～30日)の一部講義がSCS(スペース・コラボレーション・システム)でも提供されたため、愛媛大学でも工学部4号館18講義室において長期研修の講義を視聴することができました。当日は、館長を含め数名の図書館職員が熱心に視聴しました。多少、聴きにくい講義もありましたが、映像も良好で、遠く離れた筑波で行われた講義を全国から集まった研修生やSCSによる視聴に参加した他大学の図書館職員と共に受講することができ、知識の習得や資質の向上を図ることができました。

**図書の特別(長期)貸出しの
返納期限を守ってください**

返納期限：10月7日(木)

本館および農学部分館では、夏季休業にともない特別(長期)貸出しをしております。

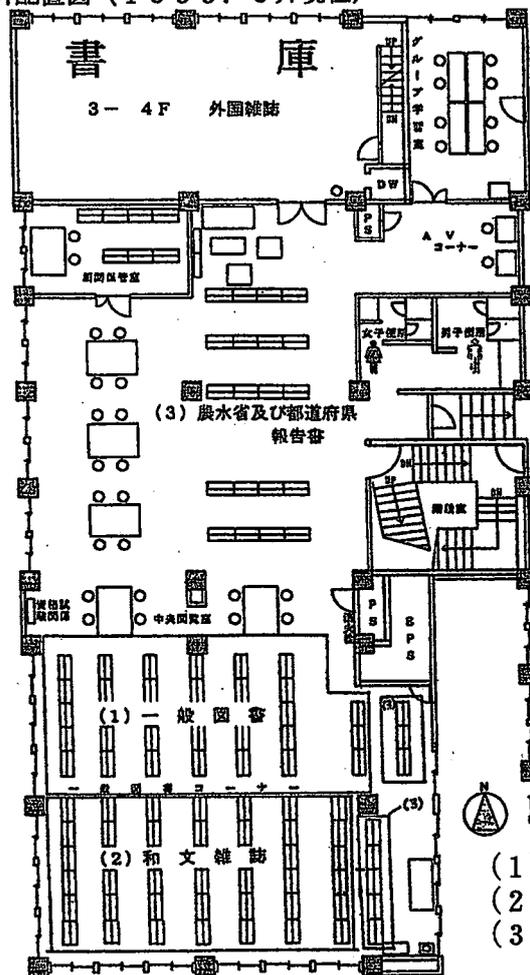
期限までに返納しなかった場合は、延滞日数分貸出しができなくなりますので注意してください。

農学部分館資料配置の変更について

農学部分館の資料配置が平成11年9月より下記のように変更されました。

今回の資料配置換により、書庫4層に配置されていた和文雑誌を資料配置図の(2)へ、書庫3-4層に配置されていた外国雑誌を同じ3-4層に再配置しました。また、2階閲覧室中央に配置されていた農水省報告書・都道府県報告書類は、資料配置図の(3)へ再配置しました。なお、資料配置図(1)一般図書は、変更ありません。

資料配置図(1999. 9月現在)



附属図書館農学部分館 2階平面図

平成11年度愛媛地区大学図書館協議会総会

平成11年7月23日松山大学カルフル会議室において、平成11年度愛媛地区大学図書館協議会総会が開催され、事業計画・予算等についての協議及び加盟館近況報告等が行われました。

この総会において、「加盟館間の学生利用についての申し合わせ」が改正されて、加盟館の教職員も所属大学の身分証明書を提示し、入館手続きをすれば、利用(閲覧・貸出等)することができるようになりました。

平成11年度愛媛大学体験入学

愛媛大学では、平成11年8月5日～6日に、進学を希望する高校生を対象に公開の体験入学を開催しました。

附属図書館では、施設見学とOPACやインターネットの情報検索体験を実施し、45名の参加がありました。

附属図書館委員会

平成11年度第1回附属図書館委員会

日時 平成11年7月2日(金) 15:30～

場所 附属図書館視聴覚室

議事

[報告事項]

1. 平成11年度共通経費要求事項について
2. 平成12年度概算要求事項について
3. 平成10年度図書館活動について
4. 平成10年度学生用図書の選定について
5. 第47回中国四国地区大学図書館協議会総会及び第26回国立大学図書館協議会について

6. 第46回国立大学図書館協議会総会について

7. 平成11年度国立大学附属図書館事務部長会議について

8. その他

[協議事項]

1. 将来計画委員会について

2. 図書選定小委員会について

3. 附属図書館自己点検・評価委員会について

4. 学生用図書の充実方策について

5. その他

図書館日誌(会議, 研修)

6月24日 平成11年度第4回医学部図書・情報委員会

7月2日 平成11年度第1回附属図書館委員会

7月12日 平成11年度大学図書館職員長期研修(つくば・東京)

7月23日 平成11年度愛媛地区大学図書館協議会総会(松山大学)

7月30日 中国四国地区国立大学図書館協議会地域共同サーバ検討ワーキンググループ第1回会議(広島)
システム管理係長出席

8月5日 平成11年度愛媛大学体験入学
～6日

8月25日 平成11年度図書館職員等著作権実務講習会(岡山)
学術情報係長出席

9月6日 平成11年度第1回農学部分館図書館運営委員会

9月10日 平成11年度第1回附属図書館将来計画委員会

9月20日 平成11年度第5回医学部図書・情報委員会